

学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

◎ 学校のミッション

- 全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。
- これまで、社会における自己の果たすべき役割を踏まえ、他者と協力しながら、自己実現に向けて主体的に行動できる人材の育成をめざし、高大連携をはじめとする学校外の学修の単位認定など、多様な教育活動に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向け、教育活動の充実に取り組む。

◎ 学校教育目標

- (1) 全日制普通科高校として共通教科・科目を中心に、生徒の進路希望等に合致したカリキュラムを編成する。
- (2) 不断の授業改善を実施すると共に、英語力・プレゼンテーション力・ICT運用能力等、これからの時代に求められる学力を育成する。
- (3) 大学との連携による効果的な学習法指導や個別の学習支援等を通して、生徒の学力を向上させる。
- (4) 多種・多様な学校行事や部活動・委員会活動・ボランティア活動を通じて、生徒の自主活動の活性化及び主体性の育成を図る。
- (5) 適切に業者テスト等も利用しながら、計画的に発展的な学習に取り組めるようにし、進路における第一志望実現を支援する。
- (6) 実績あるシチズンシップ教育・ボランティア活動や地域でのインターンシップ等を通して、市民社会の一員としての意識を高めさせると同時に、グローバル化の進展する社会に創造性を発揮できるよう支援する。
- (7) 事故不祥事を防止し、学校評価の仕組みを活用して開かれた学校運営及び安全安心な学校づくりを推進する。

◎ 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通教科・科目を中心とした生徒の進路希望等に合致したカリキュラムの編成。 ・ 英語力・プレゼンテーション力・ICT運用能力等、これからの時代に求められる力の育成。 ・ 効果的な学習法や個別学習支援による生徒の学力向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高大接続及び次期学習指導要領改訂を意識したカリキュラム編成と更新。 ・ 不断の授業改善と研究、関係研修会への積極的な参加。 ・ 関連学校施設の設置。 ・ 研究大学との継続的な交流。 ・ 補習・講習・個別支援の実施。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事・部活動・委員会活動・ボランティア活動を通じ、生徒の自主活動活性化と主体性の育成。 ・ 小規模校のメリットを活かした居心地のよい学校作りと教育相談体制の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事運営形態の生徒中心化と部活動入部促進。 ・ 本校スローガンの生徒に対する一層のアピールと定期的な認知状況及び実態の確認。 ・ 生徒同士の交流の場の設置。 ・ 相談体制とケース会議の充実。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路における第一希望実現のために業者テスト等の利用と計画的な発展的学習のシステム化。 ・ 積極的なインターンシップ及び多様な進路ガイダンスによる生徒の進路目標の明確化・早期立案。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業者テスト等に関する教員研修の充実と振り返り、面談等に係わる時間の確保と実施。 ・ インターンシップの実施（希望生徒のみでなく）と職業人や起業家等の講話実施。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ シチズンシップ教育及びボランティア活動等を通じて、市民社会の一員としての意識の向上。 ・ グローバリゼーションの進展する時代に、地域社会の教育力を活用し、互恵性のある関係の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会と連携した政治参加教育実施、及び地域の学校や住民との協働の行事等の企画・参加。 ・ 部活動レベルも含めた地域行事への積極的な参加と地域企業の人材活用。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンスを重視した事故不祥事の防止。 ・ 快適で落ち着いた校内環境を維持し、安全安心な学校作り推進。 ・ 学校外への情報発信の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時事的問題にも目を向けた事故不祥事防止研修会の実施。 ・ 施設設備管理と校内美化推進。 ・ HPの更新及び刷新。

平成28年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通教科・科目を中心とした生徒の進路希望等に合致したカリキュラムの編成。 ・ 英語力・プレゼンテーション力・ICT運用能力等、これからの時代に求められる力の育成。 ・ 効果的な学習法や個別学習支援による生徒の学力向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校設定科目を見直しと共通科目を中心とした教育課程編成。 ・ 自学自習を促進するために施設面の整備。 ・ 大学連携による学習法等の実授業への活用と学力向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の科目選択状況を精査し、学校設定科目を整理する。 ・ 生徒の自主的学習を支援するために自習室を整備する。 ・ 学習法について生徒に指導し、実際の授業に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからの時代にふさわしい、普通科としての教育課程を編成できたか。(改訂の実施と内容) ・ 自習室の整備が確実に進んだか。 ・ 指導を受けた学習法の具体を生徒・職員が実行したか。(生徒による授業評価やアンケート)
2	生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動・委員会活動・ボランティア活動を通じ、生徒の自主活動活性化と主体性の育成。 ・ 小規模校のメリットを活かした居心地のよい学校作りと教育相談体制の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活発な生徒活動を推進するために、行事参加への意欲高揚、部活動加入の促進。 ・ 生徒の充実した学校生活を支援するための拠点としての図書館活動の充実及び教育相談体制の強化・障害をもつ生徒への支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動の活性化に向け、活動環境等施設面の整備を促進し、部活動をする生徒への支援を行う。 ・ 読書環境づくりや資料収集等、すべての利用者が利用しやすい図書館づくり、及びケース会議の積極的な開催と介助員との連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動の活性化ができたか。(部活加入率80%を目標) ・ 生徒の図書館利用者が増加したか。(貸出した図書の冊数の増加) ・ ケース会議や情報交換会の開催数は増加したか。介助員との情報交換回数増加。
3	進路指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路における第一希望実現のために業者テスト等の利用と計画的な発展的学習のシステム化。 ・ 積極的なインターンシップ及び多様な進路ガイダンスによる生徒の進路目標の明確化・早期立案。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の実力の客観的な把握、課題の発見、目標設定のために業者テストの有効な活用。 ・ 1学年時からインターンシップ等を利用しながらの積極的な進路意識定着・促進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力の自己分析をするために、テスト後の分析機会と提供、及び1学年対象の新たな英語業者テストを実施する。 ・ 1学年生徒全員を対象にしたインターンシップの実施や社会人講話・進路ガイダンスをより充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな英語業者テストを実施したことにより、生徒の英語授業に取り組む姿勢に変化が生じたか。(生徒アンケート) ・ 1学年生徒全員を対象としたインターンシップを実施できたか。(参加人数)
4	地域等との 協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ シチズンシップ教育及びボランティア活動等を通じて、市民社会の一員としての意識の向上。 ・ グローバリゼーションの進展する時代に、地域社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 18歳選挙権の理解と参加に係る留意点の確認及び模擬投票の実施。 ・ ボランティア活動も含め、各種行事等を通じての 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏の参議院選挙に対応して全学年を対象とした模擬選挙を実施する。 ・ 生徒がボランティア活動等に自発的に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬選挙を実施した結果、選挙に対する関心が高まったか。(アンケート) ・ 生徒のボランティア活動への参加人数は増加したか。(人数)

		<p>の教育力を活用し、互恵性のある関係の構築。</p>	<p>より密接な地域社会との連携実現。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での行事参加と外部人材の活用 	<p>ように様々な情報を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域企業や団体との連携行事への参加と外部人材の活用を企画できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動での地域での行事参加や外部人材の活用回数は増加したか。(回数)
5	<p>学校管理 学校運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスを重視した事故不祥事の防止。 ・快適で落ち着いた校内環境学校評価の仕組みを活用しての開かれた学校運営及び安全安心な学校づくり。 ・学校外への情報発信の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜に係る各種業務について確実性・効率性をふまえての再検討・実施。 ・学校HPの活用による生徒の活躍状況のこまめな情報発信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自校入選マニュアルの再確認・再検討を実施すると同時に、1月には集中的に事故防止のための研修会を実施する。 ・各種行事等の様子や部活動の戦績等、学校の現況を伝えるための定期的なHP更新を確実にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施と平成29年度入学者選抜が事故なく終了できたか。(研修回数と実施結果) ・HPの更新及び刷新ができたか。(更新回数)